

Week of November 2, 2025 - Do the Lord's Work　　Small Group Lesson 39

知り合う

たまたま通りすがりのつもりが、誰かとじっくり時間を過ごすことになった経験を分かち合ってください。そのことが特別に、心に残った理由は何ですか？

聖句　コリントの信徒への手紙一 16:5-12（聖書協会共同訳）

声に出して読んでください：

5 私は、マケドニア経由で、そちらへ行きます。マケドニアを通過した後、6 たぶんあなたがたのところに滞在し、場合によっては、冬を越すことになるかもしれません。そうなれば、次にどこへ行くにせよ、あなたがたに送り出してもらえるでしょう。7 私は今、旅のついでにあなたがたに会うようなことはしたくありません。主が許してくだされば、しばらくあなたがたのところに滞在したいと望んでいます。8 しかし、五旬祭まではエフェソに滞在するつもりです。9 私の働きのために大きな扉が開かれているだけでなく、反対者も大勢いるからです。10 テモテがそちらに着いたら、あなたがたのところで心配なく過ごせるようお世話ください。彼も私と同じように、主の仕事をしているのです。11 誰も彼を軽んじてはいけません。彼を平和のうちに送り出して、私のところに帰してください。私は、彼がきょうだいたちと一緒に帰るのを待っています。12 兄弟アポロについては、きょうだいたちと一緒にそちらに行くようにと、何度も勧めましたが、彼には今行く意志は全くありません。良い機会が来れば、行くことでしょう。

簡潔に内容をもう一度確認してください。どのような励ましや挑戦、慰めなどを与えられますか?

学び

今日の聖書箇所に基づいて、次の質問を一緒に考えましょう。

1. 5〜7節では、パウロが自分の旅の計画について語っています。 7節で、彼がコリントを訪れる際に抱いている願いは何でしょうか？ また、「主が許してくだされば」という条件から、彼の宣教や計画に対する姿勢についてどんなことがわかるでしょうか？

2. 9節で、パウロはエペソにとどまる理由を2つ挙げています。「大きな扉が開かれている」こと、そして「反対者も大勢いる」ことです。この2つの理由を、去るのではなく「とどまる理由」として見ることは、なぜ重要なのでしょうか？

3. 10〜11節で、パウロはテモテについて教会にどんな指示を出していますか？ 「誰も彼を軽んじてはいけません。」という命令から、コリントの教会には、どのような問題があった可能性があると考えられるでしょうか？

4. 12節にあるアポロについての記述から、私たちは「意思決定」と「神の主権」について何を学ぶ事が出来ますか？ また、このことは、パウロの権威とアポロ自身の意思とのバランスについて、何が示されていますか？

分かち合い

話し合い　その1

武牧師は、カルメル山でのエリヤの話を通して、神の偉大な働き（天からの火）が起こった直後に、大きな反対（イゼベルの脅し）があったことを示しました。

あなたが「主の働き」をしている中で、批判されたり落ち込んだりするようなことがあったとき、最初の反応は「逃げること」（エリヤのように）ですか？それとも「踏みとどまること」ですか？

あなたが踏みとどまることができるのは、どんな助けがあるからですか？

話し合い　その2

パウロは、教会の人々がテモテを「軽んじる」ことを心配していました。 あなたはこれまでに、主の働きをしている人に対して、「若い」「自分と違う」「自分が望んでいた人ではない（教会がアポロを望んでいたように）」などの理由で、その人を見下してしまったことはありませんか？

神の家族であるすべての信者が、それぞれに与えられた賜物を用いて奉仕することが大切なのは、なぜでしょうか？

具体的な祈りの課題を分かち合い、互いに仕え合いましょう。